令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立上福島小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区　　名	福島区
学　校　名	大阪市立上福島小学校
学 校 長 名	池田　眞一

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1)　教科に関する調査

・国語

・算数

(2)　質問調査

・児童に対する調査

・学校に対する調査

３　調査の対象

・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童

・大阪市立上福島小学校では、第６学年　55名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立上福島小学校の結果概要

国語・算数ともに、大阪市平均、全国平均を大きく上回る結果であった。平均正答率は、全国平均と比べて国語が10ポイント、算数が13ポイント上回っていた。また、平均無解答率は、全国平均よりも低い大阪市平均と比べると、国語が1.8ポイント、算数が2ポイント下回っていた。それぞれの児童が問題に取り組み考えて解答をしていることがうかがえる。

児童質問紙の回答からは、学校や学習活動に対して肯定的、意欲的にとらえている回答が多い。一方で「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」、「友達関係に満足していますか」については、肯定的な回答が大阪市の平均を下回っている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

多くの問題において、正答率は平均を上回っている。そのなかで、『情報の扱い方に関する事項』の内容が平均正答率との差が小さくなっており、複数の情報の関連性をとらえたり、理解しようとしたりすることに課題がある。

【算数】

多くの問題において、正答率は平均を上回っている。そのなかで、『測定』の領域が平均正答率との差が小さくなっており、示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができるかどうかかが課題である。

両教科から、問題文の読み取り方も含めて、情報を適切に取得すること（インプット）、条件に沿った情報の組み合わせ方や内容の吟味と整合（内部操作）、適切な表現方法（アウトプット）、各段階での確認ができるようになることが課題である。

質問調査より

多くの質問への回答が肯定的であり、自己肯定感や学習意欲が高いことがうかがえる。また、学校図書館の活用率も高く、読書時間も多い。

しかし、『自分には良いところがある』と肯定する回答が、大阪市の平均を大きく上回っていながら、『友達関係に満足している』、『いじめはどんな理由があってもいけないことだ』という回答は大阪市の平均を下回っていた。学習活動以外の生活場面において、他者とのかかわりに難しさを感じているのではないかと考えられる。

今後の取組（アクションプラン）

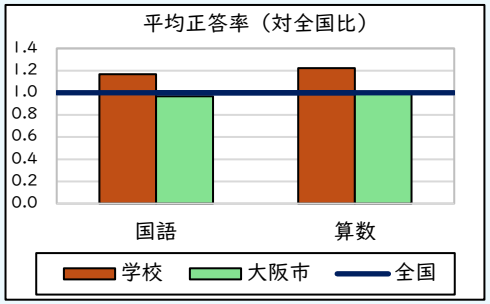
同音異義の熟語での誤りがあり、語や漢字そのものが持つ意味を定着させるためにPCでの検索を活用できるようにする。

情報の内容を適切に把握することや条件に合った情報を抽出することに課題がある。そのため、条件に合ったものであるか見返して確認をする習慣づけていくよう授業の中で意図的に取り入れていくようにする。

令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要

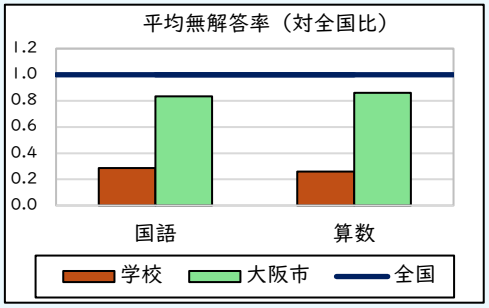
平均正答率（%）

	国語	算数
学校	71	69
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



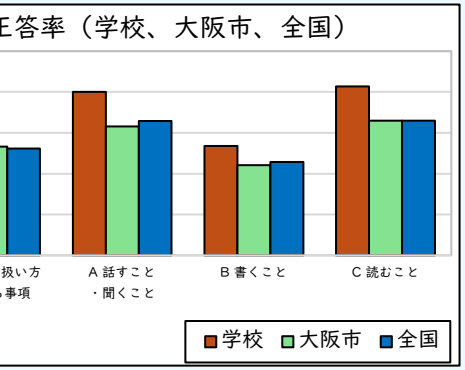
平均無解答率（%）

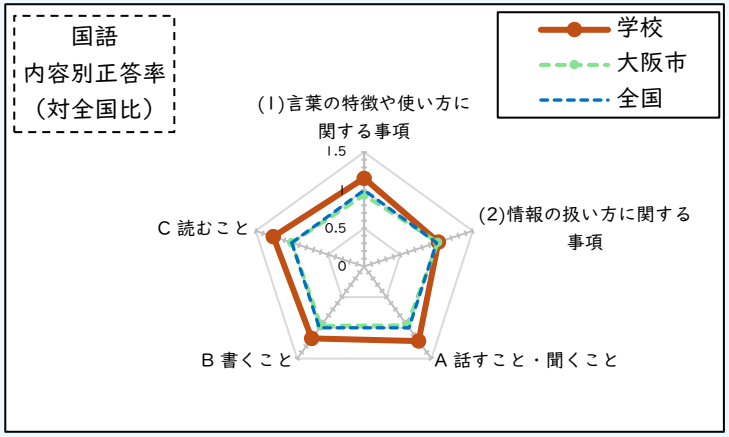
	国語	算数
学校	1.0	0.8
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



【国語】内容別正答率

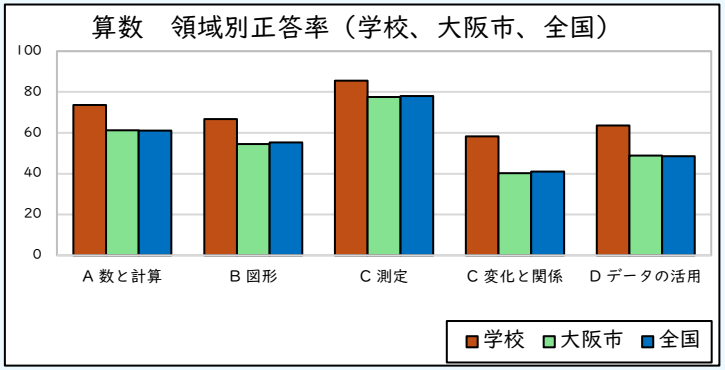
学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	77.3	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に関する事項	2	53.6	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	－	－	－
A 話すこと・聞くこと	3	80.0	63.1	65.8
B 書くこと	2	53.6	44.2	45.7
C 読むこと	2	82.7	66.0	65.9

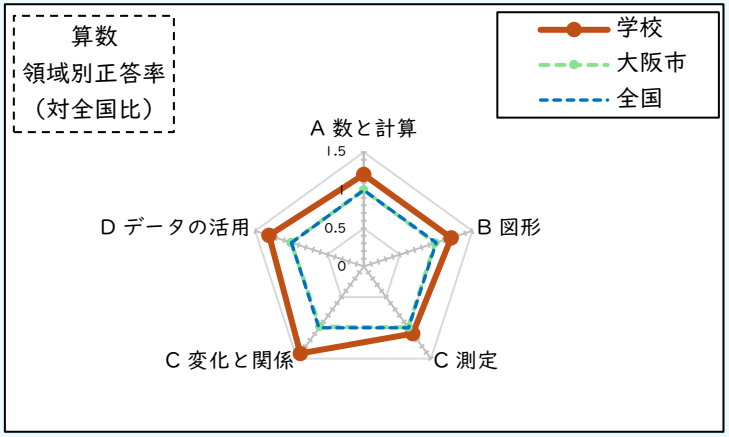




【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	73.6	61.2	61.1
B 図形	4	66.8	54.5	55.3
C 測定	1	85.5	77.5	78.1
C 変化と関係	3	58.2	40.3	41.1
D データの活用	4	63.6	48.8	48.6

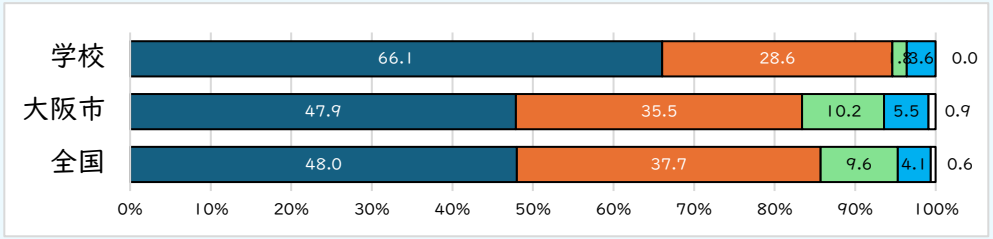


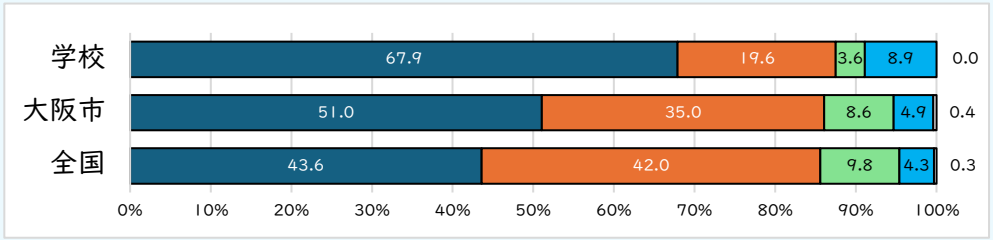


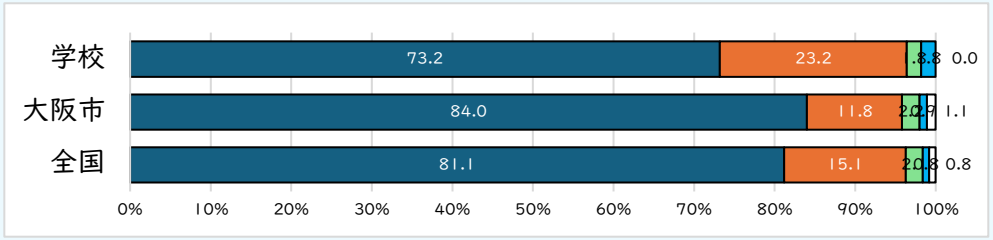
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より

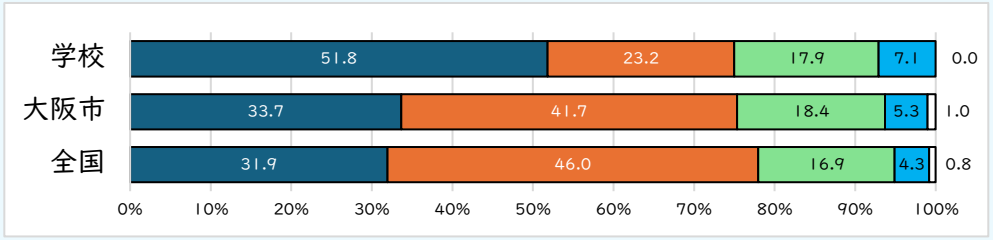
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

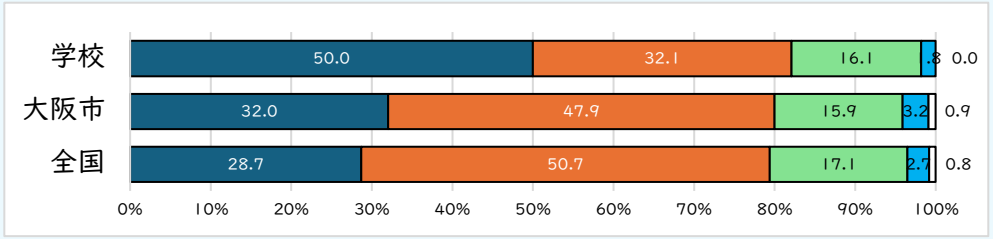
質問番号	質問事項
（15）	学校に行くのは楽しいと思いますか
（8）	自分には、よいところがあると思いますか
（12）	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
（16）	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
（22）	分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか











1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

1 できている
2 どちらかといえば、できている
3 どちらかといえば、できていない
4 できていない

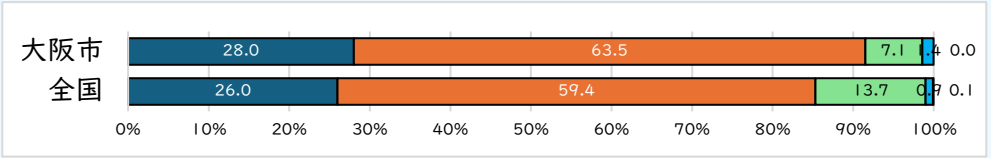
令和８年度全国学力・学習状況調査　学校質問調査より

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

質問番号	質問事項
（９）	調査対象学年の児童は、礼儀正しいと思いますか

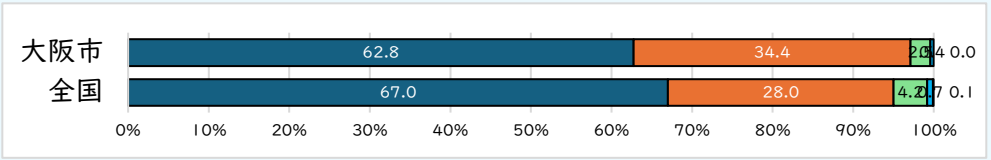
【学校の回答】　２　どちらかといえば、そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

（１３）	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

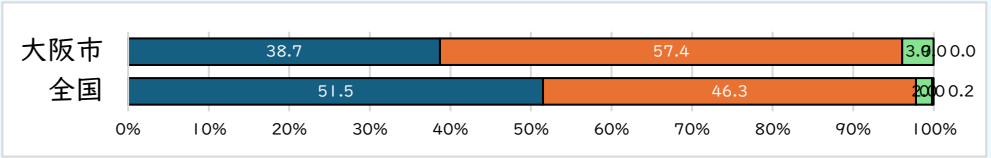
【学校の回答】　１　そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

（１８）	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

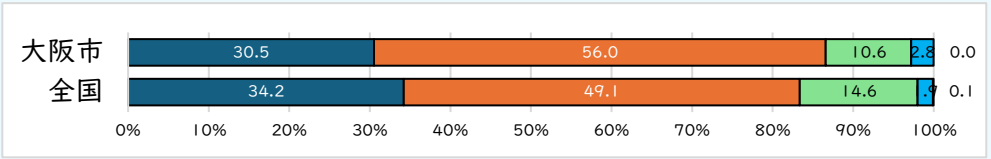
【学校の回答】　１　よくしている



1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

（２４）	児童にとって、学校施設全体として、児童が学びや生活がしやすく、居心地のよい建物だと思いますか

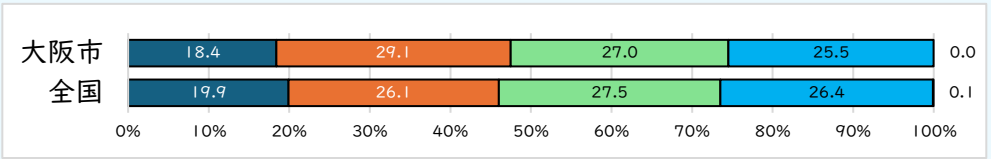
【学校の回答】　１　そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

（７８）	コミュニティ・スクールの仕組みや地域学校協働活動等の取組を活用して、学校の運営や教育活動に関し、児童が意見を表明することが出来る取組を行いましたか

【学校の回答】　１　よく行った



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった